

様式第5号（第10条関係）

パブリックコメント実施結果報告書
【案件名：つくば市都市計画マスタープラン及び
つくば市立地適正化計画（案）】

令和6年（2024年）11月
つくば市都市計画部都市計画課

■ 意見集計結果

令和6年(2024年)8月13日から9月12日までの間、(つくば市都市計画マスタープラン及びつくば市立地適正化計画(案))について、意見募集を行った結果、4人(団体を含む。)から12件の意見の提出がありました。これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考え方をまとめましたので、公表します。

提出方法別の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数(団体を含む。)
直接持参	1人
郵便	—
電子メール	—
ファクシミリ	—
電子申請	3人
合計	4人

■ 意見の概要及び意見に対する市の考え方

○ P95 目標1 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	前半部分の段落の最後に「調和」が突然出て来る感じがする。前半部分の目的が特徴を説明することにあるのであれば、主観的なことは言わずに「分散立地しているのが大きな特徴となっています。」としてはどうか。	1件	ご意見を踏まえ、当該部分を「分散立地していることが大きな特徴となっています。」に修正します。
2	後半部分の「豊かな自然を共生・協調させる」の「協調させる」には、強制力を伴う印	1件	ご意見を踏まえ、当該部分を「豊かな自然を共生・調和させる」に修正します。

	<p>象がある。ここで「調和」を使ってはどうか。「豊かな自然を共生・調和させる」、これだと強制力ではなく知恵を使う感じがする。</p>		
--	---	--	--

○ 全体構想 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>P126 ①防災市街地の整備 (ライフライン施設対策) 本方針に対して賛同する。 そのうえで、以下の方針の追記を提案する。 都市生活のライフラインとなる道路、上下水道、電気、都市ガス、電話等の生活関連サービス施設については、それらを所管する関係機関と連携して適切な維持・管理・点検に努めます。</p>	1件	<p>ご意見を踏まえ、当該部分に「都市ガス、」を追記します。</p>
2	<p>P126 ②災害対応力の強化 (公共施設の防災機能強化) 本方針に対して賛同する。 そのうえで、以下の方針の追記を提案する。 災害時の避難場所や物資の保管・集積・配分場所、救急医療等の様々な活動拠点となる市庁舎や公園、学校等の公共施設については、建物の耐震性を確認し、安全性を確保するとともに、その機能や規模に応じて、非常用電源設備(※エネルギーの多重化を含む)や備蓄倉庫等の防災施設を整備し、防災機能の強</p>	1件	<p>ご意見を踏まえ、「非常用電源設備」を「非常用電源設備(エネルギーの多重化を含む)」に修正します。あわせて、用語集に「エネルギーの多重化」を追加します。</p>

	化を図ります。		
3	<p>P128 ③流域治水対策の推進（市街地の雨水排水対策の推進）</p> <p>雨水排水対策とあるが、内容は雨水流出抑制対策、河川改修となっており、上の2件と同じである。排水の具体的な対策を記入すべき。</p>	1件	<p>当該記載は、市街地内での雨水の排水対策に注力するために特記しているものです。なお、表題を「市街地における雨水対策の推進」、本文の文頭を「市街地における雨水対策については、」に修正します。</p>
4	<p>P128 ④土砂災害対策（ハザードマップの活用）</p> <p>土砂災害対策にのみハザードマップについて書かれているが、洪水対策にはハザードマップを使わないのか。</p>	1件	<p>当該記載は、土砂災害の発生が予測困難であることを踏まえ、事前の周知に注力するために特記しているものです。なお、ハザードマップの活用については、P.127の防災意識の向上における整備方針としてすでに記載しているほか、P.225の防災指針における具体的な取り組みとしても記載しています。</p>
5	<p>P134 ③環境に配慮したエネルギーの利用促進（多様なエネルギー需給構造の構築）</p> <p>本方針に対して賛同する。そのうえで、以下の方針の追記を提案する。</p> <p>広域中心拠点や産業・工業団地等においては、分散型エネルギーなど多様な電源・熱源（蒸気・温水など）を活用した面的エネルギーネットワークの導入を図ることで、単独の事業所では困難な効率化や省エネ化に加え、災害時でも適切に機能するエネルギー需給構造を構築しま</p>	1件	<p>ご意見を踏まえ、当該部分に「や工業団地等」及び「・熱源（蒸気・温水等）」を追記します。</p>

	す。		
--	----	--	--

○ 防災指針 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	P191 内水ハザードマップが未作成とあるが、作成予定の有無、時期を記載すべき。	1件	内水ハザードマップの作成については、現時点で未定であるため、作成予定の有無や時期は記載しません。なお、現在市では令和3年度の水防法改正を踏まえ、雨水出水浸水想定区域の指定に向けた検討を進めているところです。
2	P191 内水ハザードマップが計画期間中に作成された場合でも分析は行わないのか。	1件	立地適正化計画については、おおむね5年ごとに見直しを行うこととされているため、内水ハザードマップが作成された場合は、その直近の見直しにあわせて分析を行います。
3	P218 「課題の抽出」であるのに「望まれる」「求められる」という言い回しが頻出し、どこか他人任せな印象を受ける。 (2)の内水ハザードマップについて、作成主体は市であると想定されるところ、なぜ「調査が望まれる」という受け身の書き方になっているのか。国や県等の調査が必要なのであれば、働きかけが必要ではないか。	1件	当該記載は、どのような視点で何が求められるのかなど、現状の課題に対する補足説明として記載しているものです。また、作成にあたっては、必要に応じて国や県等と連携していきます。
4	P226 QRコードだけでなく、URLを記載した方がよい。この計	1件	電子ファイルについては、URLの記載は行いませんが、QRコードにハイパーリンクを設定しま

	<p>画を電子ファイルで閲覧する場合があります、リンクしているとよい。</p> <p>また、こうしたWeb情報はリンク切れも想定されるため、随時更新できるよう附録としてはどうか。</p>		<p>す。</p> <p>また、情報収集ツールの記載については、積極的に情報収集を行ってもらうためのきっかけとして計画の中に位置付けたものであり、附録とした場合より効果的に周知できるものと考えています。なお、随時更新できるよう附録とすることについては、今後改定を行う際の参考とさせていただきます。</p>
--	---	--	--

○ LRTの導入 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>LRT導入について、つくば市も十分に機は熟していると思われるので、筑波山～つくば駅～ひたち野うしく～竜ヶ崎に経路を設定し早急に開業に向けて検討されたい。LRTが敷設されることにより、様々な課題が解決され、多大な相乗効果が見込めるので計画に加える事を望む。</p>	1件	<p>ご提案のルートでのLRTの導入に関しては、費用対効果の検証等実現可能性の検証がなされていないほか、実現に向けては茨城県や関連自治体との協議・連携も必要不可欠であることから、計画には記載しません。ご意見につきましては、今後のまちづくりにおける参考とさせていただきます。</p>

■ 修正の内容

※パブリックコメントによるものではありませんが、記載内容に変更のない範囲で誤記や表現等を修正しました。